

交通事故ゼロを目指して

秋の交通安全運動

9月21日から30日までの秋の交通安全運動期間に合わせ、市内でさまざまな啓発活動が行われました。

28日は市スポーツセンター駐車場で、衝突被害軽減ブレーキなどが搭載されたサポートカー体験会を実施しました。30日には、総合福祉センターで高齢者交通教室を開催。参加者は、運転技能や体力向上を目的に、ゲームや体操を行いました。



衝突の可能性が高い場合に、自動でブレーキを作動する衝突被害軽減ブレーキ



脳のトレーニングゲームで判断能力を鍛える



1



2

1 駅前不動産スタジアムでのマスク配布 2 コラボモデルは、2チームのマスコットキャラクターであるウィンストとパレたんをデザイン

Jリーグのサガン鳥栖とコラボ

総社デニムマスク

10月10日、Jリーグのサガン鳥栖・Bリーグの佐賀バルナーズと総社デニムマスクのコラボモデルを販売開始。この日、駅前不動産スタジアム（佐賀県鳥栖市）でサガン鳥栖の試合が行われ、販売を記念して入場者に同モデルが配布されました。

価格は1枚1000円。通信販売サイトAmazonで取り扱っています。

スポーツの秋を満喫

市民総合スポーツ祭

10月11日、市スポーツセンターや総社北公園陸上競技場などで市民総合スポーツ祭が開催されました。軟式野球や卓球、太極拳、合気道、ゲートボール、ニュースポーツなど14種の競技を実施。約800人が参加し、それぞれの種目を楽しんでいました。



卓球では白熱のラリーを繰り広げた



バドミントンでスマッシュ

ミニフォト

在間さん 100歳おめでとう



家族に祝福される在間さん

在間吉十郎さん（楨谷）が9月17日に満100歳の誕生日を迎えられ、27日に市から記念品が贈られました。イグサ栽培や酪農をはじめ、さまざまな仕事に従事した在間さん。長寿の秘訣は、感謝の気持ちを忘れないことだそうです。

高谷さん 100歳おめでとう



家族に祝福される高谷さん

高谷愛子さん（溝口）が10月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。縫製会社へ勤めたり、田畑の手伝いをしたりしていた高谷さん。長寿の秘訣は、若い頃によく歩いたことだそうです。

小林さん 100歳おめでとう



家族に祝福される小林さん

小林芳江さん（久代）が10月3日に満100歳の誕生日を迎えられ、市から記念品が贈られました。茶道や華道を教えたり、婦人会で活発に活動したりしていた小林さん。長寿の秘訣は、好き嫌いをよく食べることだそうです。



夜の撮影では、備中国分寺五重塔をライトアップした



赤米のほ場で歌った相川さん

赤米を世界に発信

赤米フェスタ 2020 REMOTE

赤米の伝統文化継承のため例年開催していたコンサート「赤米フェスタ」を、今年は「赤米フェスタ 2020 REMOTE」としてWEBで公開。9月15日に相川七瀬さんが来総し、鬼ノ城や備中国分寺で歌やメッセージの撮影が行われました。以前出演した加藤登紀子さん、坂本冬美さん、さだまさしさんらのコメントなども合わせ、赤米フェスタ公式サイト（<http://akagomefesta.com/>）で配信中です。



地域活動などに貢献した人を表彰

総社市社会貢献表彰

総合福祉センターで9月28日、総社市社会貢献表彰の表彰式が行われました。

表彰されたのは小原伸さん、山崎製パン株式会社、株式会社シオジリ製帽。小原さんは総社市出身で、ふるさと納税の創設以降13年間、市へ多額の寄付をされています。山崎製パンは、災害発生時に避難所へ食糧を無償提供したほか、毎年障がい者支援施設にクリスマスケーキを贈呈されています。シオジリ製帽は、西日本豪雨の際に酷暑で作業を行う災害ボランティアのため、2万個の帽子を無償提供されました。



写真左から、山崎製パン株式会社の伊藤利宏岡山工場長、小原伸さん、株式会社シオジリ製帽の山寺佑樹営業部長

秋の鬼ノ城で昆虫採集



バッタの種類は何か

鬼城山ビジターセンター周辺で9月26日、自然観察会が行われました。親子連れ16人が参加し、虫捕り網を使ってバッタやコオロギを採集したり、じっくりと観察したりしながら豊かな自然に親しんでいました。

季節を感じる野花を展示



自然味あふれる山野草を眺める

10月2日から4日まで、総合文化センター市民ギャラリーで秋の山野草展が開かれました。今年で第30回となった同展。訪れた人は、市花の会会員が丹精込めて育てた山野草を熱心に鑑賞していました。

お気に入りの消防車を描く



車の形をじっくりと観察

10月4日、市消防庁舎グラウンドで写生大会と消防フェスタを開催。小学生以下の子ども448人が来場しました。はしご車や救急車の絵を描いたほか、放水訓練や心肺蘇生法などの体験も行い、防火・防災意識を高めていました。